

# 兼業（非常勤医師、非常勤講師の場合）

太枠内のみ記入願います。

※ 兼業先法人の所在地と異なる所在地の場合のみ記入してください。

※ 具体的に詳しく記入してください。

※ 貴法人のHPがない場合は、記入不要です。

集中講義等未定の場合は、回数、総時間等詳しく記入してください。

※ 貴法人の文書番号を記入願います。

別紙第1

## 兼業依頼状（兼業許可申請書・許可書）

<p>東 北 大 学 総 長 殿</p> <p>貴学下記職員に兼業を依頼したいので御同意くださるようお願いいたします。</p> <p>団体名： (財) ○○○○</p> <p>代表者： 病院長 ○ ○ ○ ○</p>	<p>文書番号：○○○○第××××号 平成22年4月1日</p> <p>兼業先法人の所在地：〒○○○-○○○○ 東京都港区区○○町○-○-○</p> <p>担当部署、担当者、連絡先電話番号： 総務部総務課 ○○ ○○ 03-○○○○-○○○○</p>
<p>貴法人HPアドレス：http://www.tohoku.ac.jp/japanese/index.html</p>	<p>兼業（勤務）先所在地：〒○○○-○○○○ 東京都千代田区○○町○-○</p>
<p>事業内容：</p> <p>※ 事業内容の記入は必要ありません。</p>	<p>勤務態様 ■ 毎 週 金曜日 13時00分～17時00分</p> <p>□ (年・月・期間内・週)につき _____ 回</p> <p>□ その他（ 1回あたり _____ 時間</p> <p>※ 遡及して許可することはできません。</p>
<p>兼業従事者 氏名：青葉 一郎 職名：教授</p> <p>所属：大学院○○○学研究科</p>	<p>兼業予定期間：平成22年8月1日 から 平成23年3月31日 まで</p>
<p>役職名：嘱託医師（非常勤講師）</p> <p>職務内容：外来及び入院患者にかかる診療（内科）を行う。 (学部学生に「○○論」の講義を行う。)</p> <p>※ いずれも誰を対象に行うのか、それと非常勤医師であれば「診療科目」、非常勤講師であれば「授業科目」、研修講師であれば「講義テーマ」を必ず記入してください。</p>	<p>報酬：□ 無 ■ 有 1回につき 20,000円</p> <p>その他（</p> <p>旅費：□ 無 ■ 有</p> <p>税込の金額を記入願います。</p>
<p>当該兼業依頼状について開示請求があった場合、開示して差し支えのあるものについてチェックしてください。： □団体名（代表者名・事業内容を含む） ■役職名 ■職務内容</p>	

※ 「[独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律](#)」第3条に基づき法人文書の開示を請求された場合に、同法第5条に基づき本学に法人文書の開示義務が生じます。しかし、常に全てを開示しなくてはならないのではなく、同法第5条各号に掲げられた情報であればその部分について開示義務を免れ、同法第6条に基づき部分開示しなければいけません。今後、本学に当該兼業に関する法人文書の開示請求があった場合に「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」第5条各号に該当するもので開示することに差し支えのあるものがあれば、その項目にチェックしてください。

# 兼業（講演の場合）

太枠内のみ記入願います。

※ 講演先法人の所在地と異なる所在地の場合のみ記入してください。

※ 貴法人のHPがない場合は、記入不要です。

※ 貴法人の文書番号を記入願います。

別紙第1

## 兼業依頼状(兼業許可申請書・許可書)

<p>東北大学 総長 殿</p> <p>貴学下記職員に兼業を依頼したいので御同意くださるようお願いいたします。</p> <p>団体名： (財) ○○○○</p> <p>代表者： 理事長 ○ ○ ○ ○</p>	<p>文書番号：○○○○第××××号 平成22年4月1日</p> <p>兼業依頼先法人の所在地：〒○○○-○○○○ 東京都港区区○○町○-○-○</p> <p>担当部署、担当者、連絡先電話番号： 総務部総務課 ○○ ○○ 03-○○○○-○○○○</p>
<p>貴法人HPアドレス：http://www.tohoku.ac.jp/japanese/index.html</p>	<p>兼業先所在地：〒○○○-○○○○ 東京都千代田区○○町○-○</p>
<p>事業内容：学術研究の助成、研究者の養成のための資金の支給、学術の応用に関する研究等を行うことにより、日本の学術の振興に寄与することを目的とする。</p> <p>※ 定款、寄附行為の「目的」にあたる項目を記入してください。国、地方公共団体の場合はこの欄の記入は不要です。</p>	<p>勤務態様：<input type="checkbox"/> 毎 曜日 時 分～ 時 分</p> <p><input type="checkbox"/> 期間内につき _____ 回</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他（平成22年8月2日（月） 14時30分 ～ 16時00分）</p> <p>1回あたり_____時間</p> <p>※ 講演日時を記入願います。遡及して許可をすることはできません。</p> <p>兼業予定期間： 平成 年 月 日 から 平成 年 月 日 まで</p> <p>※ 記入は不要です。</p>
<p>兼業従事者：氏名：青葉 一郎 職名：教授</p> <p>所属：大学院○○○学研究科</p>	
<p>役職名：講演会講師</p> <p>職務内容：○○○○に関する開発について</p> <p>※ 講演テーマまたは講演内容を簡潔に記入してください。</p>	<p>報酬：<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 1回 20,000円 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">税込の金額を記入願います。</span></p> <p>その他（</p> <p>旅費：<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有</p>
<p>当該兼業依頼状について開示請求があった場合、開示して差し支えのあるものについてチェックしてください。： <input type="checkbox"/> 団体名（代表者名・事業内容を含む） <input type="checkbox"/> 役職名 <input type="checkbox"/> 職務内容</p>	

※ 「[独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律](#)」第3条に基づき法人文書の開示を請求された場合に、同法第5条に基づき本学に法人文書の開示義務が生じます。しかし、常に全てを開示しなければならないのではなく、同法第5条各号に掲げられた情報であればその部分について開示義務を免れ、同法第6条に基づき部分開示しなければいけません。今後、本学に当該兼業に関する法人文書の開示請求があった場合に「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」第5条各号に該当するもので開示することに差し支えのあるものがあれば、その項目にチェックしてください。

# 兼業（非常勤医師・非常勤講師・講演以外）

太枠内のみ記入願います。

※ 兼業先法人の所在地と異なる所在地の場合のみ記入してください。

※ 具体的に詳しく記入してください。

変則的な場合は「その他」の欄に詳しく記入してください。

※ 貴法人のHPがない場合は、記入不要です。

※ 貴法人の文書番号を記入願います。

別紙第1

## 兼業依頼状（兼業許可申請書・許可書）

<p>東北大学 総長 殿</p> <p>貴学下記職員に兼業を依頼したいので御同意くださるようお願いいたします。</p> <p>団体名： (財) ○○○○</p> <p>代表者： 理事長 ○ ○ ○ ○</p>	<p>文書番号：○○○○第××××号 平成22年4月1日</p> <p>兼業先法人の所在地：〒○○○-○○○○ 東京都港区区○○町○-○-○</p> <p>担当部署、担当者、連絡先電話番号： 総務部総務課 ○○ ○○ 03-○○○○-○○○○</p>
<p>貴法人HPアドレス：http://www.tohoku.ac.jp/japanese/index.html</p>	<p>兼業（勤務）先所在地：〒○○○-○○○○ 東京都千代田区○○町○-○</p>
<p>事業内容：学術研究の助成、研究者の養成のための資金の支給、学術の応用に関する研究等を行うことにより、日本の学術の振興に寄与することを目的とする。</p> <p>※ 定款、寄附行為の「目的」にあたる項目を記入してください。国、地方公共団体の場合は当該委員会規程等の目的等に当たる部分を記入してください。国に属する審議会の場合はこの欄の記入は不要です。</p>	<p>勤務態様：<input type="checkbox"/> 毎 曜日 時 分～ 時 分</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 期間内につき 6 回</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ 1回あたり 2 時間</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">遡及して許可することはできません。</p>
<p>兼業従事者 氏名：青葉 一郎 職名：教授</p> <p>所属：大学院○○○学研究科</p>	<p>兼業予定期間：平成22年8月1日 から 平成23年3月31日 まで</p>
<p>役職名：○○○○委員会専門委員</p> <p>職務内容：○○○○委員会専門委員として、学識経験者の立場により、学術研究の振興を目的とした○○○補助金の配分・促進・評価に関する審査を行う。</p> <p>※ 職務内容を具体的に記入してください。この欄の業務以外に従事することはできません。治験に携わる場合は、必ずその旨記入してください。</p>	<p>報酬：<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 1回につき 10,000円</p> <p>その他（</p> <p>旅費：<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">税込の金額を記入願います。</p>
<p>当該兼業依頼状について開示請求があった場合、開示して差し支えのあるものについてチェックしてください。： <input type="checkbox"/> 団体名（代表者名・事業内容を含む） <input checked="" type="checkbox"/> 役職名 <input checked="" type="checkbox"/> 職務内容</p>	

※ 「[独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律](#)」第3条に基づき法人文書の開示を請求された場合に、同法第5条に基づき本学に法人文書の開示義務が生じます。しかし、常に全てを開示しなくてはならないのではなく、同法第5条各号に掲げられた情報であればその部分について開示義務を免れ、同法第6条に基づき部分開示しなければいけません。今後、本学に当該兼業に関する法人文書の開示請求があった場合に「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」第5条各号に該当するもので開示することに差し支えのあるものがあれば、その項目にチェックしてください。